

# 特別活動

## 1 目標

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

### 各活動・学校行事の目標

学級活動	生徒会活動	学校行事
学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。	生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。	学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

## 2 評価の観点及びその趣旨

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
趣旨	学級や学校の集団や自己の生活に関心をもち、望ましい人間関係を築きながら、積極的に集団活動や自己の生活の充実と向上に取り組もうとする。	集団や社会の一員としての役割を自覚し、望ましい人間関係を築きながら、集団活動や自己の生活の充実と向上について考え、判断し、自己を生かして実践している。	集団生活の意義、よりよい生活を築くために集団としての意見をまとめる話し合い活動の仕方、自己の健全な生活の在り方などについて理解している。

## 3 改訂のポイント

- 望ましい集団生活や体験的な活動を通して、豊かな学校生活を築くとともに、よりよい人間関係を築く力、社会に参画する態度や自治的能力の育成を重視する。
- 道徳的実践の指導の充実を図る観点から目標や内容を見直す。
- 特別活動の目標を受けて、各活動・学校行事を通して育てたい態度や能力を各内容の目標として新たに示す。

### <学級活動>

- よりよい人間関係を築く力、協力して学級や学校の生活の充実・向上を図るとともに生徒が当面する課題に主体的にかかわる態度の育成を重視する。
- 活動内容については、①学級や学校の生活づくり、②適応と成長及び健康安全、③学業と進路の3つに整理するとともに、集団の適応にかかわる問題や思春期の心の問題、社会的な自立を目指す教育活動を充実する観点から、項目の改善を図る。

### <生徒会活動>

- よりよい人間関係を築く力、社会に参画する態度や自治的能力の育成を重視する。
- 内容については、①生徒会の計画や運営、②異年齢集団による交流、③生徒の諸活動についての連絡調整、④学校行事への協力、⑤ボランティア活動などの社会参加の5つを示し、それぞれの活動の内容を明確にするとともに、生徒の自発的、自治的な活動の充実を図る。

### <学校行事>

- よりよい人間関係を築く力、公共の精神を養うこと、社会性の育成を図ることを重視する。
- 内容については、社会の一員としての自覚と責任感を高め社会的自立を進める観点から、「勤労生産・奉仕的行事」について職場体験を重視するとともに、奉仕体験の意義を明確に示す。また、「学芸的行事」を改め、「文化的行事」とする。

### ☆ 言語活動の充実を図る。

- ①学校や学級における生活上の問題を、話し合いを通して解決する活動を一層重視する。
- ②体験活動を通して感じたり、気付いたりしたことを振り返り、言葉でまとめたり、発表し合ったりする活動を重視する。

☆ 指導計画の作成に当たっては、各教科、道徳及び総合的な学習の時間などの指導と関連を図る。また、中学校入学当初においては、個々の生徒が学校生活に適応するとともに、希望と目標をもって生活できるようにガイダンス機能の充実を図る。

## 4 評価規準と展開例

- 1) 議題 第2学年「校内合唱コンクールを成功させよう」  
学級活動(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

- 2) 生徒の実態と議題選定の理由 (略)

### 3) 指導のねらい

校内合唱コンクールに向けた取組の中で、学級集団を高めるための方法について合意を形成し、それに基づいた実践を通して、学級への所属感や連帯感を深める。

### 4) 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級や学校の生活の充実と向上にかかわる問題に関心をもち、他の生徒と協力して、自主的、自立的に集団活動に取り組もうとしている。	学級や学校の一員としての自己の役割と責任を自覚し、他の生徒の意見を尊重しながら、集団におけるよりよい生活づくりなどについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	充実した集団生活を築くことの意義や、学級や学校の生活づくりへの参画の仕方、学級集団として意見をまとめる話し合い活動の仕方などについて理解している。

**指** 事前・事後の活動も教師の適切な指導のもとに行う必要がある。

### 5) 指導計画と評価計画

	日時	活動内容	対象	目指す生徒の姿と評価方法 (★目指す計画委員の姿)
事前の活動	9月1日 まで	・合唱コンクールの取組についての意見を把握するためのアンケート調査項目を作成する。	計画委員	【関心・意欲・態度】 ★話し合い活動が深まるように自主的、自立的に準備を進めようとしている。〔観察〕
	9月2日 終礼	・アンケート調査を行う。	全員	【関心・意欲・態度】 ・合唱コンクールに関わって、学級生活における様々な問題に関心をもち、改善の必要性を感じている。〔アンケート〕

	9月2日 放課後	・アンケートの集計結果を基に課題を分析し、議題を決定する。 ・提案理由を検討するとともに話し合いの柱を決め、「話し合い計画カード」に記入し、本時の活動計画を作成する。	計画委員	【関心・意欲・態度】 ★話し合い活動が深まるように自主的、自立的に準備を進めようとしている。〔観察〕
	9月6日	・活動テーマ（議題）に対する自分の意見を、学級活動カードに記入する。	全 員	【関心・意欲・態度】 ・活動テーマ（議題）に関心をもち、自主的に自己の考えをまとめようとしている。〔学級活動カード〕 【知識・理解】 ・話し合いの内容、学級活動カードの書き方を理解している。〔学級活動カード〕
話し合い	9月7日 5校時 (本時)	・校内合唱コンクールを成功させるための話し合いを行う。	全 員	【思考・判断・実践】 ・互いのよさを生かし合いながら、最高の合唱にするための目標とその具体策を考え、理由を示し意見を述べている。 〔観察〕〔学級活動カード〕 【関心・意欲・態度】 ・話し合いを通して、校内合唱コンクールに向けて進んで取り組もうとしている。〔観察〕〔学級活動カード〕 【思考・判断・実践】 ★「話し合い計画カード」にしたがって意見をまとめながら、話し合いを進めている。 (計画委員) 〔観察〕〔学級活動カード〕
	9月7日 放課後	・話し合い活動における決定事項を教室に掲示する。	計画委員	
事後の活動	9月7日 ～ 30日	・決定事項に基づいて活動する。	全 員	【思考・判断・実践】 ・目標の実現に向け、互いに信頼し支え合って決定事項を実践している。〔観察〕
	10月1日	○校内合唱コンクール ・これまでの話し合い活動や放課後等の活動の成果が実るよう、目標の実現に向けて歌う。	全 員	【関心・意欲・態度】 ・みんなで協力し、進んで合唱コンクールに取り組もうとしている。〔観察〕 【思考・判断・実践】 ・目標の実現に向け、互いに信頼し支え合いながら実践している。〔観察〕
		・これまでの取組や本日の校内合唱コンクールを振り返り、互いのよさを称賛する。 ・一連の活動を通して、気付いたことや学んだことを振り返りカードにまとめるとともに、今後の学校生活の在り方を考える。	全 員	【知識・理解】 ・校内合唱コンクールの成功に向けて学級で取り組むことの意義について理解している。〔振り返りカード〕

**指** 終礼の時間などを活用して、これまでの活動全体を振り返る機会を設ける。

**指** 特別活動においては、生徒に自信をもたせたり意欲を高めたりするために、生徒一人一人のよさや可能性などを積極的に評価することが重要である。

## 6) 本時の指導と生徒の活動

- ① 本時の活動テーマ 「最高の合唱をするための方法を考えよう」
- ② 生徒の活動計画 (略)
- ③ 本時のねらい
  - ・話し合い活動を通して、校内合唱コンクールに向けて進んで取り組むことができる。【関心・意欲・態度】
  - ・最高の合唱にするための目標やその具体策に関する学級集団の合意形成に向け、互いの考えを生かし合いながら話し合い活動を深めることができる。【思考・判断・実践】
  - ・「話し合い計画カード」にしたがって意見をまとめながら、話し合いを進めることができる。(計画委員)【思考・判断・実践】
- ④ 学習活動

活動内容	教師の支援	目指す生徒の姿と評価方法
1 開会の言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の発表・確認 4 提案理由の説明 5 教師の話	・計画委員会での検討の経緯について説明するよう助言する。 ・アンケート結果や提案理由に関する補足をしながら、学級への所属感や連帯感が深められるような話し合いになるよう助言する。	<b>指</b> なぜ、話し合うのか、問題の所在が明確になるように、検討の経緯を含めて提案理由を詳しく説明できるよう指導しておくことが大切である。
6 話し合い (1) 合唱コンクールの目標について (2) 目標実現のための具体策について (3) 学級として必ず守る決まりについて	・事前に、目標とその達成のための具体策について意見をまとめさせておく ・過去の行事の経験などを踏まえ、様々な角度から考えるよう助言する。 ・提案理由を踏まえて考えるよう助言する。 <b>指</b> 複数の意見のよさを認め統合する等、折り合いをつけた集団決定を心がけさせることで人間関係を形成する力を育成するとともに、言語活動の充実を図る。 <b>指</b> 意見が話し合いの中心からそれた場合等は、提案理由に立ち返って話し合いをするよう助言する。	【思考・判断・実践】 ・互いのよさを生かし合いながら、最高の合唱にするための目標とその具体策を考え、理由を示して意見を述べている。 〔観察〕〔学級活動カード〕 【関心・意欲・態度】 ・話し合いを通して、校内合唱コンクールに向けて進んで取り組もうとしている。 〔観察〕〔学級活動カード〕 【思考・判断・実践】 ★「話し合い計画カード」にしたがって意見をまとめながら、話し合いを進めている。(計画委員) 〔観察〕〔学級活動カード〕
7 決定事項の確認 8 自己評価・感想の記入 9 教師の話	・本時の話し合い活動を通して気付いたことや考えたことなどを、学級活動カードに記入するよう助言する。 ・話し合いの流れを方向付けた発言や計画委員の活動などを称賛し、実践に向けての意欲を高める。	<b>指</b> 本時のねらいを踏まえて、振り返りの視点を示す。 <b>指</b> 計画委員の事前の活動を含めてねぎらうなど、生徒の主体的・意欲的な活動につながるような肯定的な評価言を大切にす。
10 閉会の言葉		

- ⑤ 本時の評価 (十分満足できると判断される生徒の具体例)
  - ・話し合い活動を通して、校内合唱コンクールに向けて進んで取り組もうとしている。
  - ・互いのよさを生かし合いながら、最高の合唱にするための目標とその具体策を考え、理由を示して意見を述べている。
  - ・「話し合い計画カード」にしたがって意見をまとめながら、話し合いを進めている。(計画委員)

※ 引用：「評価基準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料(中学校 特別活動)」(国立教育政策研究所)